

2020年7月13日(月)

ずーっと雨ばかりで、今年は梅雨が随分と長い気がするが、それでも日曜日には、真夏を思わせるような太陽が顔を出し、気温も上昇して車の気温計も38度を表示していた。

「こりゃー梅雨明けか！」と期待したのも1日限り。

本日は、また雨が降るといふ・・・。
もう雨はいいよ・・・日本各地では、大雨の影響でとんでもない事になっていて、熊本、宮崎に親戚の皆さんがいる私としては、なんともやるせない気持ちになる。

一方の東京では連日感染者数が他県に比べて異常なほど多く、見えない敵に怯えながら、神経をピリピリさせて暮らす日々が続く。

そんな中、シアターモリエールという新宿の小劇場でクラスターが発生したってニュースが飛び込んできた。

シアターモリエールか・・・。
もう34年くらい前になるかな？

こちらの劇場がオープンする直前、劇場お披露目パーティーが行われたのだが、そのパーティーに24歳の若造・平野恒雄も出席をしたのです。

「何故に平野恒雄が？」かといいますと、当時私が所属していた劇団が、「シアターモリエール」で公演を行う事が決まっていたので、その関係で招待を受けたと思う。

しかし普通ならば、この手のパーティーには劇団の代表が、先輩の誰かが行くものなんだけど、どうして私が行ったのか？理由は覚えていない。

パーティーは立食形式で、華やかな「レビューショー」があったのは覚えていますが、あとはどんな事をやったのか？どんな人がいたのか？そんな私はどんな振る舞いをしたのか？全然記憶にない。
それでも電動で上がり下がりする可動式の客席や舞台を動かすデモンストラクションを見て、「小劇場なのにすげえーなあ！」と舞台装置に感動したのは覚えている。

しかし、私はその後、そちら劇団を辞めてしまったので、結局シアターモリエールのステージには立たなかつただけだね。

それ以来、お客さんとして知人の芝居に一度くらいは行ったかな？その程度の拘わりしか持っていない劇場ではあるのだが、お披露目パーティーに参加したおかげで、「シアターモリエール」といえば、小劇場ながら凄い劇場つてのがずっとインプットされて、出演したことも利用したこともないくせに、私の中では愛着のある劇場の部類に入っていたので、今回のニュースは驚きだった。

ニュースやシアターモリエールのホームページを見れば、コロナ対策はかなり万全だったみたいだけど、しかし出演者の体調不良が分かっていたながら出演し続けたってのは、やはりまずかつたんだろうなあ。

日をまたいで何ステージもあったようだけど、どの回でも観客にまで感染者が確認されたという事だから、

コロナの感染力の怖さつてのを、あらためて思い知らされた。

それにしても、せっかく演劇がボチボチ再開し始めた矢先だけに、「シアターモリエール」での感染というのは、演劇界を震撼させる相当ショックな出来事であるのは間違いない。

だって世の中の大半の演劇を行う団体つて、プロアマ問わず、こうした小劇場での芝居を行っているからね。

わが劇団ふぁんハウスの1月公演は、シアターモリエールより2回りほど広いホールで行う予定だけど、それでも他人事じゃない。

とにかく今後の演劇を行う団体等の動向に注視しながら、共催して下さる行政の担当者の方と共に、慎重に、慎重に物事を進めたいと思うのであります。